

経済産業省委託事業

ブラジルにおける模倣品対策の制度及び運用状況に
関する調査

2018年3月

独立行政法人 日本貿易振興機構

サンパウロ事務所

その他の行政機関

模倣執行プログラムを援助するために用いられる場合がある行政機関があり、特に、消費者安全基準および／または消費者保護に責任を負う機関を思料する。そのような機関の例として、ANVISA、INMETRO および ANATEL をここに簡単に詳述する。

その他の行政機関の最初の重要な例は ANVISA であり、食品および薬品管理を担当するブラジルの機関である。実際に ANVISA は、特定の栄養補助食品、薬剤、ヘルスケア製品、化粧品、香料、個人衛生用品、清浄剤および製薬用品の認可とともに、薬剤、ヘルスケア製品および製薬用品の保管の認可を与える権能を有する。

実際に、ANVISA は認可を与える権能を有するのみならず、その管轄にある製品が必要な基準に適合しない場合はいつでも、執行および市場への対応に責任を負う。

一般的品質基準を設定するもう一つの重要な行政機関は、INMETRO（ブラジル国立計量品質技術研究所）である。INMETRO は、法的計量が働く分野での測量がすべて正確であるよう確実にする法的義務を負う連邦法人であり、国内各地に存在し、ブラジル全州の権限を与えた代表者によって測量器具および過去に測量した物品を監視する。品質の監視は、消費者市場で入手可能な認可された規制製品（繊維製品および低電圧品）の付随行為をなす活動である。

当該付随行為は、その適合性が消費者の良好な健康および安全のための保証であることから、これら製品が有効な基準および技術規則に従うよう確実にすることを目的とする。製品の使用が安全または消費者の健康を害するおそれがあるとき、INMETRO は、製品を押収し、さらなる商品化を禁じることができる。

一定の電気通信製品は、ANATEL（国立通信機関）による登録および認可もなされなければならない。したがって、認可を得ないで商品化される製品は、ANATEL の代表者が押収することができる。

結論として、原製品がブラジルの機関による特別な適合性認可を必要とするか確認することが重要であり、間接的には、こうした同機関は、正しい認可を欠く模倣品の執行の重要な助力とみなされ得る。